

平成19年10月11日

宮城県政記者会所属報道機関 御中

東 北 大 学

『学術シンポジウム：「学術と産学連携」』の開催について

本学を会場として、学術研究フォーラム、東北大学、日本学術振興会の主催で標記シンポジウムを開催いたします。

イノベーションを目指した「産学連携」の重要性・必要性が叫ばれる反面、「死の谷」問題をはじめとする難しさや問題点、また大学の学術研究そのものに与える微妙な影響等、考えるべきことの大きさ・重さにもかかわらず、それを正面から議論する機会がこれまでほとんどなかったという問題意識から開催されるものです。

本学のみならず日本の産学連携の課題解決に向けて模索する貴重な機会となることと存じますので、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成19年10月27日（土）13:30～16:30（開場 13:00）

場 所：東北大学片平さくらホール（東北大学片平キャンパス内）

定 員：120名（参加費無料）

U R L：http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/gakuzyutusympo.pdf

そ の 他：事前の申込みが必要となります。（一般の方の参加も可。）

【内 容】

基調講演者として、阿部 博之 氏（元東北大学総長、前総合科学技術会議議員）並びに沢田 康次 氏（東北工業大学 理事・副学長）をお迎えし、また、有識者によるパネルディスカッションが行われます。

【この件に関するお問合せ先】

東北大学総務部総務課総務係

TEL:022-217-4808 FAX:022-217-5906

E-mail:forum@bureau.tohoku.ac.jp

学術と産学連携

学術シンポジウム

「学術研究フォーラム」は、学術の振興と社会発信を願う研究者たちによって平成14年4月に設立された任意団体で、これまで学術研究セミナー、シンポジウム、懇談会等を開催してきました。今回は、東北大学、日本学術振興会とともにシンポジウムを開催することにしました。

イノベーションを目指した「産学連携」の重要性・必要性が叫ばれる反面、「死の谷」問題をはじめとする難しさや問題点、また大学の学術研究そのものに与える微妙な影響等、考えるべきことの大きさ・重さにもかかわらず、それを正面から議論する機会がこれまでほとんどなかった、という問題意識から企画されたものです。研究者はもとより、技術者、企業関係者、ジャーナリストをはじめ、社会各方面の方々の参加を歓迎します。

平成19年

10月27日(土) 13:30~16:30
(開場13:00)

会場：東北大学片平さくらホール

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 東北大学片平キャンパス内

定員：120名(参加費無料)

主催：学術研究フォーラム、東北大学、日本学術振興会

プログラム

開会挨拶

小野 元之(日本学術振興会 理事長)

基調講演

阿部 博之(元東北大学総長、前総合科学技術会議議員)

沢田 康次(東北工業大学 理事・副学長)

パネルディスカッション(五十音順)

阿部 博之(元東北大学総長、前総合科学技術会議議員)

笠木 伸英(東京大学 工学系研究科 教授、日本学術会議会員)

川合 眞紀(東京大学 新領域創成科学研究科 教授)

沢田 康次(東北工業大学 理事・副学長)

橋本 嘉幸(共立薬科大学 理事長)

平山 健一(岩手大学 学長)

閉会挨拶

庄子 哲雄(東北大学 理事)

司会

石井 紫郎(日本学術振興会学術システム研究センター 副所長)

申込方法 事前の申込みが必要です。

会場の収容定員に限りがございますので、定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただきます。

「学術シンポジウム参加」と明記の上、(1)ご自宅の郵便番号・住所・電話番号(FAX番号)(2)氏名(フリガナ含む。)(3)年齢(4)会社または学校名・職名(該当者のみ)(5)E-mailアドレス(保有者のみ)をご記入いただき、ハガキ、FAX又は電子メールにてお申し込み下さい。

申込の確認が完了しましたら、後日ご連絡いたします。



徒歩
JR仙台駅から約15分

タクシー
東北大学片平キャンパスまで
(JR仙台駅から約5分)

市営バス
JR仙台駅西口バスプール11番のりばより
「霊巖橋・動物公園経由 緑ヶ丘三丁目」乗車、「東北大正門前」下車(約10分)

※マイカーでのご来場は
ご遠慮願います。

お申込み・お問い合わせ先

東北大学総務部総務課 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

E-mail: forum@bureau.tohoku.ac.jp 電話: 022-217-4808 FAX: 022-217-5906